



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月8日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	54,014	1.2	848	△55.0	1,314	△49.9	462	6.6
30年3月期第3四半期	53,388	1.8	1,886	△19.9	2,625	△8.3	433	△80.7

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △1,030百万円 (ー%) 30年3月期第3四半期 △24百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	44.08	ー
30年3月期第3四半期	41.33	ー

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	106,388	56,068	52.6
30年3月期	106,468	57,629	54.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 56,003百万円 30年3月期 57,566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	ー	2.50	ー	2.50	5.00
31年3月期	ー	2.50	ー	ー	ー
31年3月期(予想)	ー	ー	ー	25.00	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は2円50銭となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	△0.5	400	△68.9	900	△58.5	300	130.4	28.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	11,145,249株	30年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	652,015株	30年3月期	650,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	10,494,324株	30年3月期3Q	10,495,247株

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当および連結業績予想について)

当社は、平成30年6月27日開催の第89期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成31年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりです。

1. 平成31年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 2円50銭(注)1 期末 2円50銭(注)2

2. 平成31年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 2円86銭

(注) 1. 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注) 2. 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注) 3. 平成31年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は5円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費も持ち直しており、緩やかな回復が見られました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響等があり、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは3カ年の中期経営計画の2年目となり、「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」というビジョンを継承し、この3カ年で集大成とすべく、「グループ総合力の深化」と「研究開発の推進」という全体戦略、「パッケージング事業の収益力強化」と「ニューガラス事業の拡大」という事業戦略の下、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

## ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、他素材容器への転換に加え、地震、台風等の天災の影響も尾を引き、国内ガラスびん業界全体の出荷量は前年同期比94.6%と減少しました。当社の出荷量の減少は業界平均ほど大きくなかったものの前年にはおおよぼ、セグメント売上高は36,566百万円（前年同期比2.9%減）と減収となりました。セグメント利益は、海外子会社において生産性は向上しましたが、ガラス溶解窯の更新による稼働率の低下に加え、環境規制強化に対応する費用の増加があり、また当社の出荷量・生産量の減少や国内子会社のガラス溶解窯の更新という減益要因があったため、△223百万円（前年同期は919百万円）となりました。

## ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、当社において、好天の影響等により飲料用キャップの出荷が増加し、海外子会社においても飲料用キャップの出荷が増加したため、セグメント売上高は5,355百万円（前年同期比16.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収による増益効果等はありませんでしたが、販売の品種構成による利益率低下や海外子会社における為替換算の影響により、450百万円（前年同期比0.6%減）と減益となりました。

## ③ 物流関連事業

物流関連事業では、3PL（サード・パーティー・ロジスティクス）事業の拡大や新規業務の獲得等により、セグメント売上高は8,632百万円（前年同期比11.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、作業効率の改善や配送コスト削減に努めましたが、労働力確保のための人件費増加により、9百万円（前年同期比75.5%減）と減益となりました。

## ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社の太陽電池用ガラスの出荷は減少しましたが、電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移し、国内子会社の光通信用キャップ部品の出荷が堅調に推移したため、セグメント売上高は3,459百万円（前年同期比2.9%増）と増収となりました。セグメント利益は、外注費等の製造経費の増加により、306百万円（前年同期比7.2%減）と減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は54,014百万円（前年同期比1.2%増）と増収となりました。連結営業利益は848百万円（前年同期比55.0%減）と減益となり、持分法による投資利益は847百万円（前年同期比13.1%減）となったため、連結経常利益は1,314百万円（前年同期比49.9%減）と減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は特別損失にのれん償却額等を計上したこともあり、462百万円（前年同期比6.6%増）と増益となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期における通期の業績予想につきましては、当第3四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、平成30年5月11日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成31年2月8日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,610	12,690
受取手形及び売掛金	20,136	20,790
商品及び製品	6,997	6,743
仕掛品	435	319
原材料及び貯蔵品	2,859	2,955
その他	1,148	1,192
貸倒引当金	△87	△53
流動資産合計	45,101	44,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,497	8,117
機械装置及び運搬具(純額)	12,254	12,028
工具、器具及び備品(純額)	766	1,005
土地	10,333	10,332
建設仮勘定	857	1,469
有形固定資産合計	32,708	32,954
無形固定資産		
その他	1,712	1,555
無形固定資産合計	1,712	1,555
投資その他の資産		
投資有価証券	4,744	4,239
関係会社株式	20,566	21,449
退職給付に係る資産	949	878
その他	711	697
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	26,945	27,239
固定資産合計	61,366	61,749
資産合計	106,468	106,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,220	8,419
短期借入金	6,858	6,825
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	411	365
賞与引当金	600	236
役員賞与引当金	15	13
その他	5,452	4,961
流動負債合計	22,658	20,923
固定負債		
社債	1,600	1,500
長期借入金	18,134	21,202
リース債務	1,298	1,593
環境対策引当金	33	23
退職給付に係る負債	3,158	3,170
繰延税金負債	1,258	1,208
その他	695	697
固定負債合計	26,179	29,396
負債合計	48,838	50,319
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,697	16,697
利益剰余金	28,134	28,072
自己株式	△1,234	△1,236
株主資本合計	57,672	57,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	1,520
繰延ヘッジ損益	13	△227
為替換算調整勘定	△1,214	△2,570
退職給付に係る調整累計額	△775	△326
その他の包括利益累計額合計	△105	△1,603
非支配株主持分	63	64
純資産合計	57,629	56,068
負債純資産合計	106,468	106,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	53,388	54,014
売上原価	42,441	44,215
売上総利益	10,947	9,798
販売費及び一般管理費	9,060	8,949
営業利益	1,886	848
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	66	71
持分法による投資利益	974	847
その他	365	362
営業外収益合計	1,412	1,289
営業外費用		
支払利息	359	315
為替差損	—	194
租税公課	90	111
その他	224	203
営業外費用合計	673	824
経常利益	2,625	1,314
特別利益		
固定資産売却益	8	5
投資有価証券売却益	359	6
特別利益合計	367	11
特別損失		
固定資産売却損	1	53
固定資産廃棄損	20	24
のれん償却額	1,465	—
支払補償金	278	—
特別損失合計	1,766	78
税金等調整前四半期純利益	1,226	1,247
法人税、住民税及び事業税	689	516
法人税等調整額	88	263
法人税等合計	777	779
四半期純利益	448	468
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	433	462

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	448	468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	260	△350
繰延ヘッジ損益	153	△240
為替換算調整勘定	△52	△142
退職給付に係る調整額	9	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△844	△770
その他の包括利益合計	△472	△1,498
四半期包括利益	△24	△1,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32	△1,035
非支配株主に係る四半期包括利益	8	5



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,676	4,600	7,749	3,361	53,388	—	53,388
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	345	8,031	4	8,384	△8,384	—
計	37,679	4,946	15,780	3,366	61,772	△8,384	53,388
セグメント利益	919	453	38	330	1,742	144	1,886

(注) 1. セグメント利益の調整額144百万円には、セグメント間取引消去等74百万円、その他の調整69百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,566	5,355	8,632	3,459	54,014	—	54,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	373	7,947	5	8,327	△8,327	—
計	36,567	5,729	16,580	3,464	62,341	△8,327	54,014
セグメント利益 又は損失(△)	△223	450	9	306	543	305	848

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額305百万円には、セグメント間取引消去等88百万円、その他の調整217百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。